

競 技 注 意 事 項

1 競技規則について

本競技会は、2014年度（公財）日本陸上競技連盟競技規則、本大会要項及び競技注意事項を適用する。

2 練習について

- (1) 練習は第2陸上競技場において競技役員の指定する場所と時間帯で行う。また競技役員の指示に従うこと。
- (2) 投てき及び跳躍種目は、競技役員の指示により主競技場で練習を行う。

3 招集について

- (1) 招集場は、サブグラウンド倉庫に設ける。
- (2) 招集完了時刻は、当該種目の開始時刻を基準に、次の通りとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
ト ラ ッ ク	30分前	20分前
フ ィ ー ル ド	50分前	40分前

- (3) 招集の手順
 - ① 競技者は、招集完了時刻までに、招集場に掲示してある出場競技者一覧表に、本人または代理人がチェック（自分のナンバーを○でかこむ）をする。
 - ② 競技者は招集完了時刻には招集場で待機し、最終点呼を受ける。その際、競技者係にナンバーと競技用靴、衣類の商標の確認を受ける。
 - ③ 代理人による最終点呼は認めない。但し、2種目以上を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめ本人または代理人が競技者係に申し出ること。
- (4) リレーに出場するチームは、その種目の招集開始時刻60分前までに、オーダーを記入して、競技者係に2部提出すること（オーダー用紙はプログラム末尾につけてあるリレーオーダー表を使用すること）。
- (5) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理する。
- (6) 競技場へは係員の誘導により入場する。

4 競技について

- (1) 短距離走では、安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられたレーンを走る。
- (2) トラック競技でセパレートレーンを使用する場合は、欠場者のレーンはそのままあけておく。出場者が8名までのときは、1レーンをあけ、プログラム左上の競技者から2レーンより入れていく。
- (3) リレーの競技者は、ダッシュ・マークとして1カ所自分のレーンにチョークや類似品を使わず粘着テープによって印をつけてもよい。その印は自チームの競技者が必ず取り除くこと。また、テープの色はコースに使用していない色を使用する。
- (4) 男女のトラック競技の予選は、すべてタイムレースとし、上位8名が決勝へ進出する。
- (5) 棒高跳・走幅跳では、主催者が提供したマーカーを助走路外におくことができる。走高跳では、助走や跳躍の際、主催者が承認したものをおくことができる（マーカーは、薄く且つ競技者が踏んでも支障のないものであること）。
- (6) フィールド競技（走高跳・棒高跳を除く）では、ベスト8を選び、さらに3回の試技を行う。試技順は、ベスト8の8位から順に行う。
- (7) フィールド競技において2ピット（2つの競技場所）が必要と主催者が判断した場合は2つの競技場所で行う場合がある。
- (8) リレーのメンバーは同一のユニフォームを着用すること。
- (9) 砲丸投げは、1年男子砲丸投を設ける。重さは4.000Kgとする。ただし、1年生が男子砲丸投（5.000Kg）に参加することもできる。
- (10) 不正スタートは1回で失格とする。
- (11) 跳躍競技に出場者は胸又は背の一方につけるだけでよい。

5 競技用具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用すること。但し棒高跳用ポールに限り、個人所有のものを使用することができる。個人所有のポールは競技開始前に現地で検査を受け合格したものに限る。

6 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

表の中の高さが試合の高さとするが、天候等の条件で審判員の判断により変更する場合がある。

	種目	練習	1	2	3～
男子	走高跳	1m35	1m40	1m45	1m75以後3cmごと
	棒高跳	2m20	2m30	10cmごと	
女子	走高跳	1m15	1m20	1m25	1m40以後3cmごと

7 その他

- 競技中の傷害については、主催者が応急手当てをする。その後の処置については、スポーツ傷害保険による。なお、当協会はこの保険への加入を義務づけているので、未加入の競技者は至急に加入手続きをすること。
- 競技者及び審判員は、当協会会員としての登録をしなければならない。
詳細は徳島陸上競技年報「登録について」の項を参照のこと。
- 競技場は常に清潔保持につとめ、紙くず等は必ず持ち帰ること。また、荷物等は各自が責任を持って管理し、盗難に十分注意すること。
- 競技会への申込みは、申込締切り期日までにメールで申し込み、所属長の承認印のある参加申込書と参加費は大会当日受付で現金で支払う。
- プログラムに余裕のあるときは販売する。
- 本協会では、魅力ある競技会の運営を目指して、種々の面において競技会に新しい運営の様式を採用していくので、参加者各位の理解と協力をお願いする。

競技場の名称と競技場所

